



2006年(平成18年)10月31日発行

# 議会だより

## No.3

編集 議会報特別委員会

発行 燕市議会 新潟県燕市吉田日之出町1番1号

TEL 0256-93-5296

FAX 0256-92-2135

E-mail: gikai@city.tsubame.niigata.jp

## 在任特例最後の定例会が開かれました



9月定例会最終日での記念撮影

### 主な内容

	ページ
9月定例会審議日程.....	2
議決の結果.....	2 ~ 3
常任・特別委員会の議案審査.....	4 ~ 5
市政に対する一般質問.....	6 ~ 15

	ページ
意見書の提出.....	15
議会日誌.....	16
総務大臣から感謝状が贈呈.....	16
議会を傍聴しませんか.....	16

# 平成17年度決算を認定

## 一般会計補正予算など57議案を議決

9月定例会では、市長提出議案55件と議員提出議案2件を審議し、それぞれ議決しました。

また、一般質問では19名の議員が市政全般にわたって市の考えをただしました。

### 9月定例会

### 審議日程

- 9月7日(木) 本会議  
会議録署名議員の指名  
会期の決定、諸般の報告  
市長提出議案の上程・質疑  
委員会付託(うち3件は即決)  
一般質問
- 9月8日(金) 本会議  
一般質問
- 9月11日(月) 本会議  
(本会議休憩中に決算審査特別委員会開催)  
一般質問
- 9月12日(火) 本会議  
一般質問
- 9月13日(水) 総務常任委員会
- 9月14日(木) 市民厚生常任委員会
- 9月15日(金) 産業建設常任委員会
- 9月19日(火) 文教常任委員会
- 9月20日(水) 決算審査特別委員会
- 9月21日(木) 決算審査特別委員会
- 9月22日(金)  
決算審査特別委員会、議会運営委員会、全員協議会
- 9月27日(水) 本会議  
付託議案の委員長報告・質疑・討論・採決  
市長提出議案(追加議案)の上程・質疑・討論・採決  
採決  
議員提出議案の上程・質疑・討論・採決

- ### 議決の結果
- 専決処分の報告(承認)
  - 平成18年度燕市一般会計補正予算
  - 燕市一般会計
  - 吉田町一般会計
  - 分水町一般会計
  - 燕市一般会計(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
  - 燕市国民健康保険事業特別会計
  - 吉田町国民健康保険特別会計
  - 平成17年度決算(すべて認定)
  - 燕市一般会計
  - 吉田町一般会計
  - 分水町一般会計
  - 燕市老人保健特別会計
  - 燕市老人保健特別会計(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
  - 燕市国民健康保険特別会計
  - 吉田町国民健康保険特別会計
  - 分水町国民健康保険特別会計
  - 燕市国民健康保険特別会計
  - 吉田町国民健康保険特別会計
  - 分水町国民健康保険特別会計
  - 燕市国民健康保険特別会計
  - 吉田町国民健康保険特別会計
  - 分水町国民健康保険特別会計



9月定例会本会議から

- 燕市介護保険事業特別会計  
(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 燕市公共下水道事業特別会計
- 吉田町下水道事業特別会計
- 分水町公共下水道事業特別会計
- 燕市公共下水道事業特別会計(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 燕市土地取得特別会計
- 燕市土地取得特別会計(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 燕市住宅団地造成事業特別会計
- 燕市住宅団地造成事業特別会計(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 吉田町企業団地造成事業特別会計
- 燕市企業団地造成事業特別会計(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 燕市水道事業会計
- 吉田町水道事業会計
- 分水町水道事業会計
- 燕市水道事業会計(自平成18年3月20日至平成18年3月31日)
- 新潟県西蒲原郡南部衛生組合一般会計
- 新潟県西蒲原郡南部衛生組合温泉保養センター特別会計
- 燕市温泉保養センター特別会計(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 西蒲・燕視聴覚教育協議会一般会計
- 条例の制定(すべて原案可決)
- 燕市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定
- 燕市総合計画審議会条例の制定
- 燕市一般旅券印紙等購買基金条例の制定
- 燕市環境基本条例の制定
- 条例の一部改正(すべて原案可決)
- 燕市国民健康保険条例の一部改正
- 燕市有料駐車場条例の一部改正
- 燕市営住宅条例の一部改正
- 条例の廃止(原案可決)
- 燕市農業センター条例の廃止
- 平成18年度補正予算(すべて原案可決)
- 燕市一般会計
- 燕市国民健康保険特別会計
- 燕市老人保健特別会計
- 燕市介護保険事業特別会計
- 燕市公共下水道事業特別会計
- 燕市温泉保養センター特別会計



議員定数条例案に対する投票

- 燕市水道事業会計  
規約の変更(原案可決)  
西蒲原福祉事務組合規約の変更
- その他(すべて原案可決)
- 契約の締結(燕東小学校校舎大規模改造(1期)工事(建築))
- 契約の締結(分水中学校校舎大規模改造(1期)工事(建築))
- 市道路線の廃止及び認定
- 議員発議による意見書・議案
- 道路特定財源に関する意見書(原案可決)
- 燕市議会議員定数条例の制定(燕市議会議員の定数を27人とする議員発議の条例案は、無記名投票の結果、反対多数により否決されました。)

一般会計補正予算の主な事業費

9月定例会で原案どおり可決された一般会計補正予算(第2号)の主な事業費です。



- \* 庁舎維持補修等工事 二百万円
- \* 旧西燕保育園解体工事他 施設整備事業 三千万円
- \* 燕勤労青少年ホーム空調設備改修工事 四百万円
- \* 燕市農業センター解体工事 千二百万円
- \* 道路維持修繕工事 二千五百万円
- \* 道路安全施設工事 百四十万円
- \* 道路照明設置工事 四百八十二万円
- \* 道路改良事業 七千五百五十万円
- \* 道路関係事業負担金 四百二十万円
- \* 道金八王寺線改良事業(地方道路交付金) 二百五十五万円
- \* 消費施設工事補助金 一千万円
- \* 下水道整備事業 四千四百七十万円
- \* 大曲河川公園整備事業 二百五十万円
- \* 防火水槽取り壊し工事 百八十万円
- \* 燕東小学校大規模改造事業設計監理委託料 三百二十五万円
- \* 小学校プール循環濾過装置改修工事他施設整備工事 千四百五十八万一千円
- \* 小池中学校冷暖房設備設置工事 六百八十万円
- \* 燕北中学校大規模改造事業設計監理委託料 百三十五万円
- \* 幼稚園冷暖房設備設置工事 四百二十万円
- \* 公民館分館営繕工事 四百万円
- \* 川前公民館空調機入替工事 一千万円

## 常任・特別委員会の議案審査

### 総務常任委員会

燕市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について  
異議なく原案のとおり可決しました。

燕市総合計画審議会条例の制定について

審議会委員の構成等について質疑がありました。異議なく原案のとおり可決しました。

平成18年度燕市一般会計補正予算(第2号)

歳入では土地建物貸付収入の法務局庁舎敷地で、地権者との借地契約の現状と今後の借地料の考え方についてや民間ボランティアやNPOへの貸し出しについて。

ガス事業譲渡清算金活用基金繰入金では関連で、基金の運用等について。

民生費委託金では身体障害児・者等実態調査委託金の内容について。

また、歳出では企画費の市

民検討委員会企画運営業務委託料で、委託先や専門家の人数、及びその役割について。

災害救助費では災害弔慰金支給審査委員会委員謝金に關連して災害の対象や審査委員の構成などについて。

債務負担行為補正ではマイクロバス借上契約の内容と、今後、市の車両をリースにしていくことについては、自動車整備組合ともよく話し合いのもとでやってほしいなど、種々、質疑・要望がありました。異議なく原案のとおり可決しました。



旧法務局燕出張所

### 市民厚生常任委員会

燕市一般旅券印紙等購買基金条例の制定について

燕市環境基本条例の制定について

燕市有料駐車場条例の一部改正について

平成18年度燕市老人保健特別会計補正予算(第1号)

平成18年度燕市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

平成18年度燕市温泉保養センター特別会計補正予算(第1号)

異議なく原案のとおり可決しました。

燕市国民健康保険条例の一部改正について

70歳以上の人のうち、課税所得145万円以上の人を引き上げの対象とした理由と全体の増税額について質疑があり、一部に反対意見がありました。

したが、起立採決の結果、原案のとおり可決しました。

平成18年度燕市一般会計補

正予算(第2号)

賦課徴収費では庁用車購入費の内容、また、購入とリースとの検討について。

パスポートセンター費の關連では燕市の近年における旅券申請者数について。

巡回バス運行費では燕地区福祉巡回バス運行事業で、燕

労災病院からお昼ころ出発する時間帯の検討経過について。

保健衛生総務費では、「地域生活支援センター」や「地域連合設立準備事務局職員派遣事業」の關連で、75歳以上のお年寄りから保険料を徴収することに對しての考えについて。

生活保護総務費では、生活保護適正実施推進事業の内容についてなど、種々、質疑・要望がありました。

異議なく原案のとおり可決しました。

平成18年度燕市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

国保会計の基金残高について質疑がありました。異議なく原案のとおり可決しました。

平成18年度燕市一般会計補正予算(第2号)

土木費では、道路維持費の關連で、防犯灯の電球修繕にかかる費用は新年度から市の負担とするように改めてほしいとの要望や、消雪施設整備事業の關連で、道路幅が狭く除雪車が入れず、サニーホース等で消雪を行っている市道に対する電気料補助の考えについて。

公共下水道費の關連では、公共下水道事業の今後の進め

### 産業建設常任委員会

燕市営住宅条例の一部改正について

市道路線の廃止及び認定について

平成18年度燕市水道事業会計補正予算(第1号)

異議なく原案のとおり可決しました。

燕市農業センター条例の廃止について

建物取り壊し後の農業センター跡地の速やかな売却処分

の考えや、隣接する燕市身体障害者福祉協会事務所の移転状況等について質疑・要望

がありました。異議なく原案のとおり可決しました。

平成18年度燕市一般会計補正予算(第2号)

土木費では、道路維持費の關連で、防犯灯の電球修繕に

かかる費用は新年度から市の負担とするように改めてほ

しいとの要望や、消雪施設整備

事業の關連で、道路幅が狭く

除雪車が入れず、サニーホース

等で消雪を行っている市道に

対する電気料補助の考えに

方に対する基本的な考えと普及率向上の方策などについて

都市公園整備事業では、ふれあい広場整備事業設計業務委託料2千万円減額の関連で市の職員による委託料積算の方法と一級建築士の資格を持つ市の職員数について。さらには職員が研修し、資格をとることによって、ある程度の市の工事については自前で設計ができる、また、成果品の検証ができるような市の職員の育成に努めてほしい、等々の質疑・要望がありました。

農林水産業費では、燕市農業センター解体工事請負費が1200万円となる積算根拠等について。さらに関連で、「たのうら燕」をはじめとする市の遊休不動産の売却処分を進め、少しでも財政に回し有効利用を図るようにとの提案や、入札方法については前例にのみとられず、真剣に考え、市のお金を大事に使ってほしいなど、種々、質疑・要望がありました。異議なく原案のとおり可決しました。

した。



燕市農業センター

### 文教常任委員会

平成18年度燕市一般会計補正予算(第2号)

教育総務費では、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の内容と小・中学生交流事業の経過と今年度実施しない理由について。

小学校費では、理科教育等設備整備事業で、その内容と備品の現有率、及び各学校における備品の廃棄状況について。関連で、学力の成果の検証方法や、理科教育振興法に基づく教育費の考え方等について。さらには、手狭になっている理科教育センターの現

状視察の要望について。

社会教育費では、青少年育成センター事業で優良映画上映委託料の内容や取り組みについて。松長のなかまの会管理運営費で、臨時職員数と子どもたちの利用者数について。また、図書館費に関連して、増える蔵書と図書館の現状の視察要望等について。  
文化振興総務費では、埋蔵文化財発掘調査業務委託料、及び美術協会市展業務委託料等の内容について。  
体育振興費では、市民プール管理運営費と清掃管理業務委託料の修繕料の内容についてなど、種々、質疑・要望がありました。異議なく原案のとおり可決しました。

### 決算審査特別委員会

平成17年度

- 燕市一般会計歳入歳出決算
- 燕市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 燕市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 燕市水道事業会計決算
- 燕市水道事業会計決算(自平成18年3月20日至平成18

年3月31日)起立採決の結果、認定しました。

平成17年度

- 吉田町一般会計歳入歳出決算
- 分水町一般会計歳入歳出決算
- 燕市一般会計歳入歳出決算(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 燕市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 吉田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 分水町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 燕市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 吉田町老人保健特別会計歳入歳出決算
- 分水町老人保健特別会計歳入歳出決算
- 燕市老人保健特別会計歳入歳出決算(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 燕市介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- 吉田町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 分水町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 燕市介護保険事業特別会計歳入歳出決算(自平成18

3月20日至平成18年5月31日)

- 吉田町下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 分水町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 燕市土地取得特別会計歳入歳出決算
- 燕市土地取得特別会計歳入歳出決算
- 燕市土地取得特別会計歳入歳出決算
- 燕市住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算
- 燕市住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算
- 燕市住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算
- 燕市住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 吉田町企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算
- 燕市企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 吉田町水道事業会計決算
- 分水町水道事業会計決算
- 新潟県西蒲原郡南部衛生組合一般会計決算
- 新潟県西蒲原郡南部衛生組合一般会計決算
- 燕市温泉保養センター特別会計歳入歳出決算(自平成18年3月20日至平成18年5月31日)
- 西蒲・燕視聴覚教育協議会一般会計歳入歳出決算



一 了 議員  
本 多 議

**問** 福祉、医療、保健の分野での法律の改定が弱者をむち打ち、生きる権利さえ奪いかねない国の政治に反対だという気概があるか改めてお聞きしたい。

**答** 法治国家の一員としてそれに沿っていかねばならないと基本的に考えている。

### 国民健康保険税は引き上げないこと

るが当然それぞれの自治体に許された権限の中でフォローしていく選択肢もある。

**問** 市内の企業経営者、農家そして市民の暮らしに重大な影響をもたらす消費税増税の政府の意図についてどう考えるか。

**答** 私は消費税の増税はいろんな方々がいろんな議論を戦わせるべきだと基本的に考える。

えている。

**問** 国上山総合整備事業は温泉施設を除いて約十五億円以上予定されている。これについては白紙にすべきだと私

すことがあつてはならない。

**答** 国上山及びその一帯は自然文化ゾーン構想という形で位置づけられていて、新市では自然を生かしたまちづくりを推進する上で欠かせない地域だ。このために自然環境や景観の保全に配慮しながら新市建設計画に搭載されている国上山総合整備事業を推進する必要があると考えている。



六 金 員  
野 議

**問** 3月20日の合併後、市民から合併したら、かえってサービスが悪くなったと聞く。その理由の一つに分庁舎方式のために吉田、分水、燕庁舎を回らなければならぬことが多い。また、窓口も慣れていないだけに意味が通じないことが

多い。窓口を一つにし、相談を受けたら「すぐやれる」ような課を設置して、市民の期待にこたえてほしい。36年前の昭和44年に始めた千葉県松戸

### 新市役所に「すぐやる課」的な窓口をつくり、市民にこたえて!!

市では「すぐやる課」を現在も続けており、職員も12名に増やし、市民から一番頼りになる大事なセクションとして、重宝がらわれていると聞いている。市民の相談に迅速に対応

することによりあいさつ運動も引き立ち、明るい燕市に変わっていくものと思う。

**答** 分庁方式の弊害を極力少なくし、今ある組織を十分に活用しながら、できるだけ

する燕市となるよう強く要請する。

**問** 病児保育の設置を早く子育て支援を積極的に考えている市長の病児保育に対する考えは？。子どもを生むことより、育てることに神経を使っている。いい職場を休まず、また、辞めることなく子どもを育てていくために早急なる病児保育の設置をと、若い女性たちから強い要望がある。

**問** 今年度末に完成をめざしている。見学順路の設置についても検討し、来館者の関心を高められるよう進めたい。

**答** 核家族化の進行や就業



伊原 一 大 原 議

**問** 燕地区での製造品出荷額がピーク時の約半分である1500億円に落ち込み厳しい状況が続いております。このまま少子高齢化が進むと福祉予算増大は、避けて通れないなど今後自立した市政の確立を考えると産業の活性化は、新

市最大の政策課題と考えるが市長の考えについて。  
**答** 産業ミュージアムは、検討委員会の協議・検討をおこなっており、早い時期に一

術集積による産業ロボットの開発にチャレンジをしたい。  
**問** 地区による公共下水の受益者負担金の徴収方法に工事終了後徴収する地区と接続

処置は、認可地域全体で4億5800万円程度が予測され利率2・3%の下水道事業債を充てていく。今後、住民説明会の意見を十分掌握し統一が可能か推移を見守りたい。  
**問** 長梅雨による農作物の被害状況。燕市農業センター解体後の跡地利用は、分譲売却し19年度からの経営所得安定対策に対応した担い手への貸付資金制度などを創設してはいかがか。

川敷など一部地域で冠水、浸水が見られたが大きな被害にならなかった。作況指数は、95から98の見込み。大豆は、大津分水河川敷で冠水による収穫皆無状態、他地域でも湿害で収量低下予想。野菜は、品質・収量の低下。果物は、平年並み。農業センターは建築後46年が経過し老朽化しており解体の補正予算を計上した。跡地利用については、現時点で、全く考えていないが議員提案も十分検討したい。

**産業の活性化は、新市における最大の政策課題である**

定の方向を示したい。平成21年から平成22年で予定している企業化支援貸工場建設事業は、企業誘致の進捗状況に対応して考えていきたい。新たな提案として燕産地の技

時に徴収する地区の二通りあり後者の財政負担額と利率。また、市民の不公平感を無くする必要があるのではないかと  
**答** 受益者負担金を接続するまで徴収しない地区の財政

の間で、災害時等における緊急放送に関する協定を結んでいる。受信については、ラジオを室内の高いところや屋外に近い窓際に置く必要もある。

画的に実施していきたい。災害時の緊急放送の場合は、サイレンを鳴らして放送。  
**問** 大雨で、サテイ周辺、吉田庁舎裏の道路等の冠水対策について。  
**答** 県央サテイ周辺につきましては、国、県、三条市との協議が前提の排水対策で、協議の結果、まちづくり交付金を活用し、須頃郷排水路や老朽化した同排水機場の改修着手と一定のめどをつけさせていただいた。また、吉田地区においても大津川放水路の



齋 藤 信 員 齋 藤 議

**問** 大津分水出水時におけるJR越後線付近は今の堤防より低い。消防団等での土の積みなど、重機等の要請など、水防体制、活動の基準のマニュアルがあるのか。  
**答** 現在は作成してないが今後とも国と協議をし、

これまでのデータの分析を進め、機動的に対応してまいりたい。  
**問** 燕三条FM放送が防災に対して、どういった関わり

の間に、災害時等における緊急放送に関する協定を結んでいる。受信については、ラジオを室内の高いところや屋外に近い窓際に置く必要もある。

**燕市の地域防災計画について、大津分水路の放水により、堤防が大丈夫か**

をして放送をするのか。また受信の現状・受信できない所例えば国上の山沿いとか。受信エリアの拡大とPR不足について。  
**答** 現在燕市と燕三条FM

PR不足については広報やホームページ等でお知らせしていきたい。  
**問** 防災行政無線について。  
**答** 一カ所から市全域をカバーできるシステムを今後計

新設及び大津川、吉田排水路、津雲田排水路の工事を行い市街地からの排水機能も向上しているが、集中豪雨の対応で100%はなかなか難しいので特に須頃郷対策については、本年度両市で全体の基本計画を策定し、また排水ポンプの更新については燕市単独で年度内に計画方針を検討して改善に努めたい。サテイ周辺の関係については、三条市と十分対応し真剣に取り組んでまいりたい。



金子正子  
議員

**問** 児童の放課後対策としての「なかまの会」や児童クラブは一元的な対応が必要でないか。延長保育の見直しや休日保育、夜間保育、病後児保育などの保育サービスの実施は、二入スとして高い保育料の負担軽減は。障害児の放課後や長

期休業中の学童保育の設置や月ヶ岡養護学校までの送迎バスの運行を望む声が多いが、どう考えているか。  
**答** 来年度から文部科学省

の両立支援の立場から検討していく。保育料は県内でも低い方であり、理解願いたい。小池農協跡地に障害者の地域生活支援センターを整備する

療サービステ体制の整備や県立吉田病院を子ども病院として存続する要請は。幼児歯科検診は吉田保健センターだけでなく、燕地区、分水地区の保健センターでも実施してほしいとの声があるが、考えは。

**問** 要介護状態の悪化を防ぐ取り組みや住民主体の小地域福祉活動の推進は。  
**答** 高齢者の生活機能を維持、向上させるため、早期に発見して適切なサービ

が主導する放課後子どもプランが本格的にスタートすることを視野に入れ、担当課と協議、検討する。ゆとりある育児を保証できる労働環境の整備も重要である。仕事と育児

計画であり、整備前に学童保育機能をもたせることが可能かどうか検討したい。  
**問** 子どもの具合が悪い時に安心して受診できるように地域の医療機関と連携を図る医

急センターの設置と併せて子ども病院も含めて要望している。乳児歯科検診は来年度以

**問** 巡回バスの整備や越後線の列車運行の充実は。  
**答** バス交通検討委員会を立ち上げて審議を行う。



田昇  
議員

**問** 市長は現在吉田駅が始発、終点となっているJRの運行に対して、難しいとは思いますが、分水駅始発、終点、さらに通勤、通学の時間帯の増便も含めて今後JRと交渉すべきと思うが市長の見解を伺ってほしいと思います。

**答** 私どもも毎年、新潟県鉄道整備促進協議会を通して新潟駅から吉田駅、吉田駅から寺泊駅、吉田駅から柏崎駅間の列車増発について強く要

吉田駅以南の列車本数につきましては、新潟駅から吉田駅間の本数に比べ約半数と非常に少ない本数になっていることは事実でございます。

いたり、増発していただき、また夏休みの期間の増便、こんな臨時的な対応を実は今までとらせていただいた経過もございます。

基本的な考え方については、これからも強く当局に要望をしてまいりたいと考えているところでございます。

### 越後線の始発、終点を分水駅から、増便も含めて努力できないか

望しているところでありまして、分水地区におきましても、年々この対応について強く訴えながら、地域の実情を要請してまいったところでもございます。

その中間におきまして、分水高校のオープン、こういう問題もございまして、特にその辺のことも強く訴えまして列車の運行ダイヤの改正について一部手直しをしていただ

今申し上げたとおり、これからも粘り強くその分水駅の始発、終点、そして地域格差の解消をこの列車利用の増便によりまして図っていくという





和 義 員  
中 島 議

**問** この春、吉田東町・富永交差点道路改良工事が完了により今まで渋滞をくり返していた区間は、人も車もスムーズに流れ、経済効果大なるものがあると思うが全体計画の25%位しか進捗していない。今後の計画はどうなっているか。

**答** 西太田交差点までの1900メートル平成12年度事業化されており、今年度は日之出町交差点前後の約350メートルにおいて、国交省で

「みちづくり」検討委員会に報告されその後国交省に上っているが、その後何か動きなど発生しているかどうか。  
**答** 巻バイパス工事が今年

### 国道116号交差点及び歩道拡幅計画について

用地買収をお願いしている。

**問** 国道吉田バイパスについては平成15年度よりNPO法人地域インフラ研究会主催による会議、勉強会が行われそこでの総意は「まちづくり

度中とのことで次は吉田地内に入ってくるのではと想定されるが道路財源の厳しいのは承知しているが、あの一帯については、これから庁舎建設等も絡んで、非常に大きなウエ

ートを占める地域でもあるので次は何としても吉田バイパスと想っているので議会の支援と協力を賜ればありがたい。  
**問** 燕市吉田庁舎及び産業会館付近の冠水被害解消策としてこれから道路改良工事にかかる日之出町地内の歩道直下に排水路を新設できないか国交省との交渉もあるが。

ス1台、マイクロバス11台所有であるが今回入替が発生したので7年契約540万円で購入契約を行ったが年80万円弱の減価償却である。市有車よりも大幅なコスト削減になると想定されるが、これから随時発生してくる車輛更新に対してどう考えているか。

**答** 今後の対策については現在業者に業務委託を発注しており、より良い計画方針を検討し改善に努めたい。  
**問** 現在燕市全体で大型バ

**答** 議員提案があったわけですが、入れ替え時または新規に入れる場合も含めてリースを基本にして考えております。



子 井 員  
高 井 議

**問** 適正化法の指針が求めているものは、元請代金から下請にどう流れているかを監視し、公共事業の質、下請保護、建設労働者の保護であります。建設業法施行規則第14条では、施工台帳にすべての下請代金の明示を義務付けています。燕

市の実施状況はどうか。  
**答** 建設業法施行規則では請負業者からの施工体制台帳の写しの提出を求めています。また、それ以外の工事につい

し平成11年3月、建設業退職金共済制度の普及徹底について、また、平成13年9月に制度の加入促進普及についてを通知しております。

### 公共工事の民主的転換

ても下請通知書の提出を求め、下請金額、契約方法及び下請代金の支払方法の確保をしております。

**問** 建設業退職金共済制度については、国も事態を憂慮

当然のこととして、指名競争入札等に参加する資格の審査を受けようとする業者には制度加入証明書の添付は求められていることと思います。燕市の業者は、建設労働者に手帳を

交付し、証紙を添付しているのかいないのか。  
**答** 現在市内に本社のある業者は153社で、退職金制度に加入している業者は55社です。2年ごとの更新でござ

が来年の更新の時には100%近くに加入できるようにしていただきたい。また、証紙の枚数を行政としてきちつと確認していただきたい。

いますので18年度につきましては来年更新の時期になります。その際に制度に加入していただくよう業者にお願いたいと思っております。ござ

**問** 建設業退職金共済制度加入業者が現在153社のうち55社ということでありま

**答** 交付枚数と金額も含めたものを状況報告として提出してもらっている。その証紙が手帳に貼られているかも状況報告として提出するよう指導を強めたい。





中山 眞二  
中 山 眞 員  
中 山 議

**問** 新市の建設計画を全部やることは財政悪化のもとにならないか。また総枠で減額する考えはあるか。  
**答** 通常ベースの投資的経費も合併特例債を活用して行っているので、原則として減額するつもりはないが、実施段階においては、

まちづくり協議会など住民の意見を聞いて、その結果を議会に諮りながら、場合によっては、健全財政を基盤として一部事業の見直しもあり得る

増えると物件費も増え、さらには150人減らす計画の人員削減も本当にできるのか。  
**答** 今年度は、建設費における設計委託などが、物件費

**問** 燕市の産業全体をマスメディアとりわけテレビを使ってもつと全国に知らしめ、燕市という名前を売り込むことによつて産業の活性化を推進してはどうか。その一つの手段としてテレビショッピング燕市という番組を作ること

はできないか。  
**答** 燕市の産業全体をマスメディアとりわけテレビを使ってもつと全国に知らしめ、燕市という名前を売り込むことによつて産業の活性化を推進してはどうか。その一つの手段としてテレビショッピング燕市という番組を作ること

### 「燕市」を全国へ情報発信

というのが基本的な考え。

**問** 建設計画の維持管理費について。当初、維持管理費(物件費)を29億円と見込まれていたが、40億円と予算がふくれており、施設がさらに

に加算され、臨時的物件費が建設時において高騰して、物件費の数値が上がってきており、今後経常的物件費をいかに抑えていくか人件費を含めて努力していく。

**答** 全国への情報発信は、新燕市のイメージアップと新たな受注の確保においては重要な要素で、個性的なまちづくりの自治体などは、多くのマスメディアが取り上げている。食

べ物に関するあらゆる道具を作るまち燕とか、あらゆる金属加工を請け負うまち燕など個性あふれる独特なイメージを構築し全国に情報発信することが今後必要であるが、テレビショッピングは、多額の費用また運営上の様々な障害があり難しいと思う。今後商工会議所や産地企業の意見を聞いて検討していきたい。また、農業や観光も含め燕市を全国に情報発信し、産業の発展の活性化に努めたい。



タナカ・キン  
員 議

**問** てまりの湯の整備事業は旧燕市民の反発が大きい。露天風呂を既存施設と別のところに作る計画は、事業費だけでなく維持管理費や人件費なども別にかかってくる。今の大浴場から出入できるところに作れないものか。事業の見直しは

考えられないか。

**答** 市民の理解を求めることは当然、100人委員会の意見を頂いて、その方向づけを議会で審議してもらい、具体

えられないか。

**答** 幕末から明治にかけての私塾、長善館の復元はまちづくり交付金を活用して文化教育の場を再現する事業。今

### 市民の関心高い 100人委員会

的な方向を確定していきたい。

**問** 長善館の復元・整備事業も総事業費4億6000万円と金額が大きい。どのように復元するのか。これらもてまりの湯と同様に、見直しを考

後、施設の利活用、運営などのワークショップも予定されている。新市建設計画に搭載された事業でもあり、まちづくり住民会議に諮り、議会とも相談していきたい。

**問** 良寛を広く全国にアピールすることが、将来的には国上山の開発以上に観光客も見込める。全市を挙げての良寛まつりは開けないものか。新燕市の子供たちに良寛を知ってもらつ取り組みは。

100人委員会は市民も関心を持っている。分野別委員会では検討するテーマや、話し合った内容はその都度市のホームページなどで公開できないか。

**答** 新燕市の良寛まつりを開催させ、新しいイベントを立ち上げる。よい方向として考えていく。現在市全体を視野に入れた副読本を作成しているところ。この中で良寛のことを学んでもらいたい。

**問** まちづくり住民会議・



杉木 義男 議員  
木 議

**問** 三地区における排水事業計画と、県央地域、燕市合流区は、集中豪雨により、市民に大きな影響を与えております。土地改良との関連性を含めた中で、深通排水路の改善が、必要とされる中、どのような対応がなされるのか。

**答** 三地区排水幹線路については、今後も大きな問題として整備を考えております。大通川幹線排水路問題は、国、県、土地改良区、三条市等の

**問** 全国でも60市町が、新エネルギー電力の導入促進事業を実施され、公共施設への経費負担軽減に努力されており、燕市も積極的、かつ先進的な取り

### 永遠のエネルギー利用と啓発 市民の健康づくりと憩いの場として

関係機関との連携体制を整え、よりよい方法を講じてまいります。燕駅周辺につきましては、雨水ますを増設し維持管理に努め、合流区全体においては、調査、検討してまいります。

**答** 庁舎や公共施設への風力、ソーラーなどの発電システムにつきましては、環境負

荷への軽減などの面から、非常に有益であると考えております。新庁舎や公共施設には、国の補助金の活用により総合的な面で検討させていただき

**答** 道の駅を主体とした中で、複合的な施設として設備が進められております。今後国上山総合設備事業におきましては、ピオトープの整備、身近な里山の自然環境の整備を進め、地元や環境ボランティアなどの、両面による活動に支援するとともに、古民家の再利用、周辺一体を視野に入れ、計画をはかってまいります。



須田 一郎 議員  
田 議

**問** 県立吉田病院は旧吉田町に開業をして約50年が過ぎました。この地域では大きな大型総合病院です。地域の人々から頼りにされている病院です。病気を診て頂き治して頂き心をいやして頂きました。経営内容が出ておりました。経営が

赤字ならば存続が難しいのではないかと、市民は不安に思っております。昔から健全な肉

命救急センターの早期実現のために取り組みます。地域の医療に全力で、当然私たちがしては県立病院の移転を燕市に誘致をしたい。このことは

### 県立吉田病院のより充実と 特別養護施設の今後の見通しは

**答** 方策を考えておられますか。 昨今の子育て支援、こ

**問** 特別養護施設の入所の件であります。現在燕市には4カ所の特養がありますが、いずれも定員いっぱいです。燕市で入所を希望している方は

約900人です。入所を希望している方々は2ないしは3カ所の施設への入所の届け出をしております。かけ持ち入所を割り引いても約300人位の方々が入所を待っております。現在入所を希望している方は不幸にして入所をしていく方が亡くなりますとようやく入所ができる、これが現状です。今は仕事もやめて一日中介護で、介護をする人も体調を崩し医者にかかった、と言う話も聞きます。福祉の充実

長にはこの現実をどのよう



阿部 健二  
議員

**問** 今回の燕市温泉保養センター整備事業で提案されている露天風呂や内湯の部分にかけてのスペースを駐車場に変えることはいかがか。さすれば今一度批判的である屋外エスカレーターの必要性もなくなる。もちろん歩道は完全分離し



野 隆員  
議員

**問** 土曜、日曜、祝日の市役所窓口開庁について、群馬県太田市では平成10年から休日の窓口開庁を実施している。市民の若い人達は毎日の仕事で疲れており介護保険などのシステムを平日に勉強したり、相談に行くことは無理である。休

て車いすでも上れるものを作る。そして道の駅駐車場で予定していたスペースには将来新市の観光振興策の一つとして良寛資料館や産業ミュージアムなどを集結させる。大型バスで道の駅国上にやってきた観光客は足の湯につかったり、各々の施設を訪れるなどして新燕市を満喫して帰ってもらえるのではないかと

### てまりの湯の改修事業は大がかりに手をかけずに

**問** 露天風呂の一つは今の中広間を利用し、もう一つは隣の環境改善センター側に作る。狭い洗い場もそれぞれに突き出し、サウナ室も少し広げ、廊下を1間分外側に移し更衣室もゆったりさせることなどはいかがか。

**問** 現にてまりの湯の一部として機能している国上地区農村環境改善センターを温泉保養センター整備事業にあわせて改修できないものか。(なお質問に入る前に、以上の問から問までの改修案を100人委員会に当局案と併行して示すべき旨を要望)

**答** 100人委員会から将来の経営の問題も含めて建物の整備そのものについての意見が出ることも予想されるわけで、ある段階において今の提案を委員会に示したいと考えている。

日の窓口開庁は市民に一番喜ばれるサービスと思うが。  
**答** 窓口開庁は毎週水曜日午後7時まで及び毎月一回、第二日曜日の午前中対応して

考え方の間違いについて、たとえば10億円の予算執行で、1億円の工事を10カ所やるのであれば、競争入札で2割安くなれば8億円で済み、2億

### 市役所は最大のサービス産業であり 休日の窓口開庁を

いる。組織機構を含め全庁的な観点で検討を加えます。  
**問** 公共工事の一般競争入札の完全実施について、なぜ予定価格の事前公表が必要なのか。地元業者優先の基本的

円余るわけです。11個目、12個目の工事を追加し総額10億円執行すれば良く、市民の要望を2割増で実現できます。民間であればあたり前のことが何故できないのか。

**答** 入札制度については、各自治体とも効果的な制度をめざして改革を進めているところであり、競争入札の拡大も今後検討します。  
**問** 県央地域に救命救急センターの誘致を。泉田県知事は「ベッド数400床以上の救命救急センターを建設するには、県立加茂病院、県立吉田病院の廃止が条件で、廃止するならば公設民営の救命救急センターを県央地域に設置することも可能」と言う考えだが。

**答** 県央地域が2次医療圏として県として認めており、地元の医師会の協力も得て緊急の課題として今、取り組んでいます。  
**問** 新潟交通電鉄跡地遊歩道整備計画の全線完了までの見通しを。18年度、19年度計画が発表になり一部整備が始まったが、早急に全線の整備を。  
**答** 新市の建設計画に登載されており、県の認可が2km、未認可が3kmで、現在補助事業として、県と協議中で早期実現をめざす。



川崎 健吾 議員

問 新体制が動き出して5カ月、開発事業が具体化するにつれあれやこれやと不協和音が沸き上ってくるようであるが、新市開発事業の基幹をなす特例債事業の中身が今一つ市民に理解されていないのではないか。事業内容の周知は行政と市



渡邊 正明 議員

問 ごみの量、有料化前を100として可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの現況はどうか。リパウンドの状況はどうか。

答 ごみの量の推移について、有料化前の13年度を100として、15年度の可燃ごみは90%、不燃ごみが

89%、粗大ごみは48%、資源ごみが129%。16年度は可燃88%、不燃89%、粗大66%、資源136%、17年度可燃89%、不燃88%、粗大63%、資

平成18年4月1日以前に生まれた第3子に光を

源139%で推移しています。リパウンドは、搬出量の一番にウエートを占める可燃ごみでも、90%くらいなので大なりリパウンドはないと認識している。

問 各施設が一年延命し、30%の減量により、年間6億2800万円の経費。各施設の延命の見直しはどうか。

答 不燃ごみ処分場の計画は25年度までのものが、22年度には満杯になると危惧されている。焼却場は20年間使用すると計画。現在、炉が2施設ある。28年、32年頃まで今後環境センターと協力し、

分別収集の徹底を図りながら延命化に努めたい。

問 市長の公約は、第3子に百万円。市長の公約完了には15年かかる。現在公約の何%くらい達成しているのか。

答 支援の目玉になれるか、なれないか。少子化にストツプをかけられるか、かけられないか。正念場であります。平成18年4月1日以前に生まれた第3子に光を当てていただくことを求めるがどうか。

答 支給を決定した人数は、第3子24人、第4子2人、計26人です。支給予定額は2700万円となり、15年後の予想予算額の9900万円に対する割合は、27.3%になっている。

実施後、適用期日、適用範囲などについて、ご意見ご指摘をいただいている。どのような支給策が有効なのか、19年度に対する国や県の動向も十分観察しながら、支援策について、具体的に検討してまいりたい。

“新燕市” 一体感の醸成が急務!

民の信頼関係確立に欠かせない要素であり、市民との協働のまちづくり意識も一にかかつてその辺からおのずと醸成されてくるものと考えます。同

とにより偏見や誤解をなくする努力が肝要と思う。いろいろなイベントを通じての一体感のあるまちづくり。これから共生、共有するという心!そ

んな気持ちで醸成する施策が急務と思うが所見を聞きたい。

答 市としても広報活動をもっと更に充実努力して市政の内容の周知に努め、一体感の醸成の旨施策を展開している。

問 燕工高の跡地問題について伺いたい。利用方法の一つにキャンパス誘致がある。

答 燕工高の跡地問題について伺いたい。利用方法の一つにキャンパス誘致がある。産、官、学の相互交流は言われて久しいが産業立市燕にと

つて将来の発展性を秘めた大事業と思う。実現に向けて大なる努力を希む。

問 市の事業がどの地域にどれ位の規模でやっているのか判らないという声をよく聞く。判りやすい事業名で周知すべき。

答 努力の足りなさを反省している。今後は出来るだけ判りやすい表現で周知をはかりたい。

## 意見書の提出

9月定例会では、意見書1件を可決し、次の意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係大臣に送付しました。

### 道路特定財源に関する意見書

道路は地方の生活を支える最も重要な社会基盤として、地域の交通の円滑化に資するほか、都市部と地方部の交流・交易基盤として、その必要性はますます大きくなっております。

当地域における国道116号は、当市はもとより、近隣地域にとって最重要路線であり、当地域の発展に大きな役割を果たしてきました。しかし、他地域ではすでに拡幅工事やバイパス工事が完成している所もある中で、当市を含め、まだ法線決定されていない地域がある現状であります。

また、国道289号は、新潟県と福島県を結ぶ重要路線にもかかわらず、未だに全線開通していない状況であります。

さらに合併後における地域間の連絡道路網の整備も急を要するものとなっております。

これら道路整備の財政的基盤である道路特定財源制度は、受益者負担の原則の下に成り立っている制度であり、依然として非常に大きい道路整備の必要性に鑑み、その用途については、あくまでも道路に関する事業に充てることが適当と考えております。

よって、政府におかれては、地方における道路網整備の実態とその必要性を認識され、その財源を確保する道路特定財源制度を堅持し、地方の道路整備が遅れることのないよう強く要望する。

(提出先 = 内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣)



幸久 橋本 諸議員

**問** 新燕市の合併に伴う市民へのアピールとして、住民サービスは高く負担は少なくとのことですが、市民に説明があつたが、合併後自治会を通じ毎月のように金額指定の寄附依頼がある。年末に向けていろいろな依頼が来ると思うが、せめて金額

の指定を無くすことは出来ないものか。

**答** 緑の羽根募金は今年度は空欄であり、日赤社費は定款で500円、愛の協力運動

### 自治会を通しての 毎月の寄附や募金は金額指定無しで

は2000円の目安で自治会の協力を得て行われているが、封筒募金はあくまでも任意ですし、市民の皆様の善意が基本ですのでご理解をお願いしたいと考えているところです。

**問** 寄附や募金は個人の自由裁量と思うが、自治会の顔見知りの隣組長が配つてくると、異論も言いにくく、隣組長も配らされたという声

をよよく聞きます。市民が強制的でなく、自立的にお互い様の精神で助け合う気持ちになれるような方法を受ける側の方も知恵を出すべきだと思つて、一家庭の負担が二千円位にな

ることは大変なことと思われるので、協力してもらつても考えるべきと思つた。  
**答** 募金活動を通して組織のPRを含め理解を深めてもらい、自治会長をはじめ各組織の方々に今提案のあつた基本的な考えを周知してもらい、気持ち良く賛同してもらつた方法と対応を、せめて燕市内の中で機会を作り協議していきたいと思つた。



# 議会日誌

## 6月

29日 議会報特別委員会を開き、「議会だより」第2号の編集・発行について協議

## 7月

- 5日 議会報特別委員会を開き、「議会だより」第2号の編集・発行について協議
- 6日～7日 市議会会派「飛燕会」・「日之出クラブ」行政視察(静岡県伊東市、熱海市)
- 10日 北信越市議会議長会交通対策特別委員会に議長出席(柏崎市)
- 10日～11日 市議会会派「政和会」・「吉翔会」・「大きな夢の会」行政視察(栃木県鹿沼市) 市議会会派「親和会」・「信濃会」・「明真会」行政視察(聖籠町ほか)
- 11日～12日 市議会会派「燕和会」・「爽風の会」・「公明党」行政視察(岐阜県高山市、関市)
- 13日 議会報特別委員会を開き、「議会だより」第2号の編集・発行について協議
- 19日 大河津分水大改造事業促進特別委員会を開催
- 21日 燕・弥彦総合事務組合議会第1回定例会
- 24日 三糸・燕総合グラウンド施設組合議会第1回臨時会(三糸市)
- 25日 三糸・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合議会第2回臨時会(三糸市)
- 27日 国道289号線建設期成同盟会総会に議長出席(東京都)

## 8月

- 2日 新潟県中越衛生処理組合議会第1回臨時会
- 3日 総務常任委員会協議会を開催(燕市市民憲章等の制定についてほか1件について協議)
- 11日 議会運営委員会を開き、第2回定例会の運営(決算審査特別委員会)等について審議
- 20日 合併記念式典に議員出席
- 23日 議員懇談会を開き、新潟産業大学(産業学科)誘致の経過と今後の対応について協議
- 28日 市民厚生常任委員会協議会を開催(燕市一般旅券印紙等購買基金条例についてほか2件について協議) 文教常任委員会協議会を開催(契約の締結について(燕東小学校校舎大規模改造(1期)工事(建築)ほか1件について協議)
- 29日 新潟県市議会議長会秋季定期総会に正副議長出席(柏崎市)
- 30日 議会運営委員会を開き、第2回定例会の運営等について審議
- 31日 全員協議会を開き、第2回定例会提出議案について協議



川上靖夫議員



古澤 明議長

### 総務大臣から感謝状が贈呈

古澤明議長と川上靖夫議員に総務大臣から感謝状が贈呈されました。

この感謝状は地方議員として35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったと認められる方に贈られるものです。贈呈式は10月19日に東京都で行われました。

### 議会を傍聴しませんか

次の定例会開催は「12月」です

改選後の30人の議員による初めての定例会は12月に開催されます。

本会議の一般質問では、多くの議員が産業、福祉、医療、教育、環境問題など、さまざまな分野にわたって市当局の考えをただします。

ぜひ、あなたも定例会を傍聴してみませんか。

詳しい定例会の日程については11月下旬ころに議会事務局へお問い合わせください。

議会事務局 0256-93-5296(直通)

### あ と が き

在任特別期間最後の本議会も終了し、これと同時に「美しい国、日本」安倍内閣がスタートしました。日本はどんな国になり、どこに向うのか。燕市も「人と自然と産業が調和し、進化するまちづくり」。どちらも言葉は美しい。しかし、日本、燕市、いずれも具体的イメージ、全体像が浮かび上がってこないと思うが、議員定数も30人となった。議員定数も30人となったが、これからの議員、議員を志す若者のためにも、安心して子育て、生活のできる最小限の議員報酬の検討も必要か(田村記)

#### 議会報特別委員会

- |      |      |
|------|------|
| 委員   | 吉田幸策 |
| 副委員長 | 田村善典 |
| 委員   | 大田伊一 |
| 委員   | 山崎雅男 |
| 委員   | 小川正徳 |
| 委員   | 長井由喜 |
| 委員   | 渡邊正徳 |
| 委員   | 玉木由喜 |
| 委員   | 野村善典 |
| 委員   | 阿部修二 |
| 委員   | 小林修二 |
| 委員   | 西村亨  |